

はじめにお読みください。

## 1. 組み立て

ST32R の場合は次ページの図 1 を参照し、以下の手順で組み立ててください。(※ST32Rf の場合は組み立ては必要ありませんので、「2. 各部の名称と機能」を確認してから「3. USB ドライバのインストール」に進んでください)

[※注意] 組み立て作業中、センサや配線ケーブル等には触らないようお気を付けください。背面板の側部にはケーブルが固定してあります。ケーブルやケーブル固定テープを傷付けたり剥がしたりしないようお気を付けください。

1. 標的装置 (Stealth-Target ST32R) は、最初は丸めてありますので、これを広げます。
2. 標的板と背面板がくっ付いていると計測できませんので、その場合は横から手を入れて剥がしてください。その際、内部のセンサやケーブル等に触らないようご注意ください。



3. 上部固定板①と下部固定板②の端部の穴に全ネジボルト⑨を差し込みます。
4. 全ネジボルトの 2 個の 25mm 長ナット⑩を上部及び下部に向けて移動させて、上部固定板と下部固定板の間隔を広げ、標的板③と背面板④に少しテンションが掛かるようにします。このとき工具は使わずに、指で回せる範囲で軽くテンションが掛かる程度にしてください。
5. 全ネジボルトの上部に 15mm 長ナット⑪を付け、下部にも 15mm 長ナットを付け、図 1 右上図のように全ネジボルトの端と 15mm 長ナットの端を一致させます。この状態で、長ナット (長さ 25mm) ⑩を回して上部固定板①と下部固定板②を確り固定します。これにより、上部固定板①と下部固定板②の上下端までの寸法は 450mm になります。



[収納の方法] 丸めて収納する方法は本機の紹介動画 (<https://youtu.be/i4MgCTU7jJM>) の 3分50秒からの部分をご覧ください。その際、直径8cm以下には丸めないようにしてください。

## 2. 各部の名称と機能

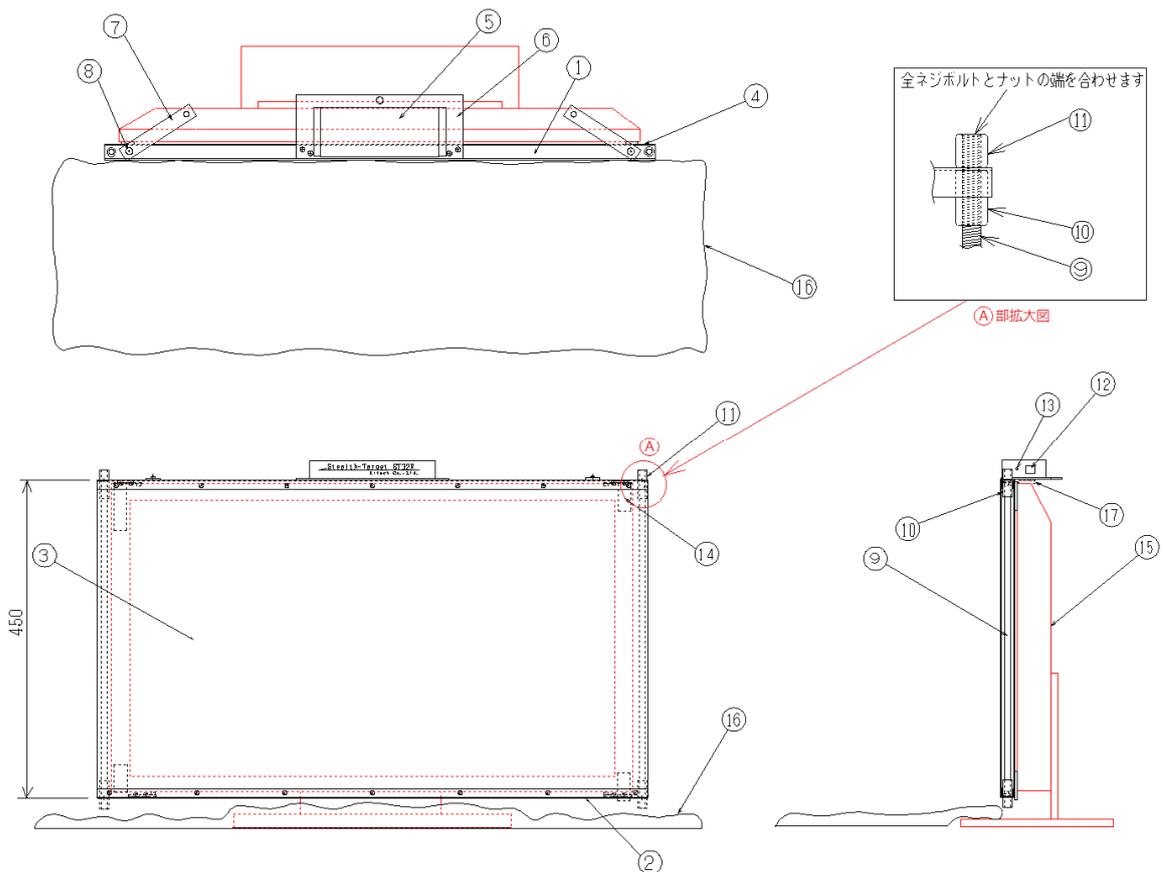


図 1

① 上部固定板：標的装置(ST32R)の上部を支える板です。

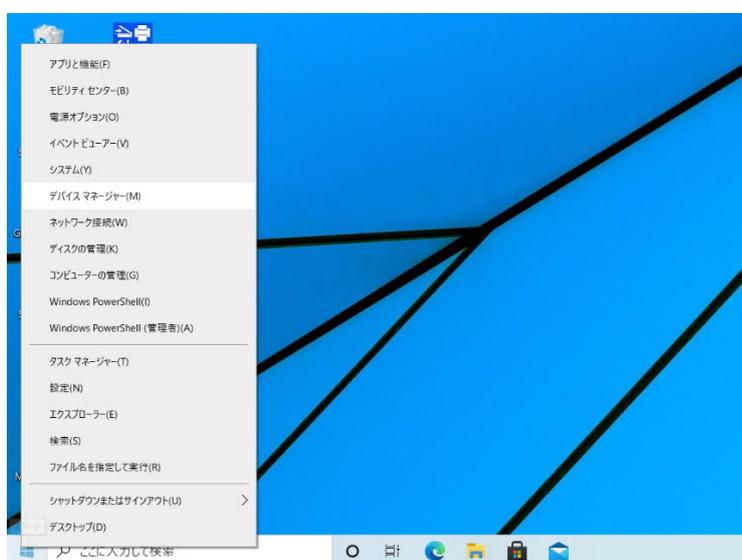
- ② **下部固定板**：標的装置(ST32R)の下部を支える板です。
- ③ **標的板**：BB 弾が当たる透明な板です。汚れてくると背後の標的画面が見え難くなりますので、柔らかい布や紙（ティッシュやガーゼ等）に、付属の標的板クリーニング液を染み込ませて拭いてください。拭いても透明度が回復しなくなったら交換してください。また、破損した場合には使用をやめてすぐに交換してください。
- ④ **背面板**：背面を塞ぐ透明な板です。
- ⑤ **コントロールユニット**：本機の制御基板が入っています。
- ⑥ **主固定板**：ST32R をモニタに固定するための板です。
- ⑦ **補助固定板**：ST32R をモニタに固定したときに左右を支える板です。補助固定版は回転させることができますので、丸めるときには斜めにしておくとコンパクトに収まります。また、外側と内側に付け替えも可能です。
- ⑧ **補助固定板固定ネジ**：補助固定板を固定するワッシャー・バネ座金付きネジです。緩めると補助固定板を回転させることができます。
- ⑨ **全ネジボルト**：上部固定板と下部固定板を繋いで固定するためのボルトです。最初は下部固定板を軸にして標的板と背面板を巻いてあります。使用時はこれを広げて、全ネジボルトを上部固定板①と下部固定板②の端の穴に挿し込み、標的板③及び背面板④に少しテンションが掛かる程度まで上下の長ナット⑩を回して調整してから、両端に長さ 15mm の長ナット⑪を付けて締めてください。
- ⑩ **25mm 長ナット**：上部固定板と下部固定板の間隔を広げて固定するための長さ 25mm のナットです。
- ⑪ **15mm 長ナット**：全ネジボルトの端を固定する長さ 15mm のナットです。上部固定板と下部固定板の間隔をある程度広げたら、全ネジボルトの端に長さ 15mm の長ナットを付けます。この時、図 1 の右上拡大図のように、全ネジボルトの端とナットの端が一致する様に合わせてから、内側の 25mm 長ナット⑩を締めて固定することにより、上下の固定板を理想的な間隔に固定することができます。全ネジボルトの全ての端に 15mm 長ナットを付けて、全ネジボルトの端とナットの端が一致する様に合わせてから、25mm 長ナット⑩を締めて固定してください。
- ⑫ **USB コネクタ**：付属の USB ケーブルを使用して PC 本体と接続してください。
- ⑬ **電源表示 LED**：本機は USB バスパワーなので、PC と接続して電源が入ると、この LED が点灯します。
- ⑭ **スペーサ**：モニタと ST32R との間に間隔をとるためにモニタベゼルに貼る板です。
- ⑮ **32 インチ液晶モニタ**：本機は 32 インチ（又は 31.5 インチ）液晶モニタ（PC モニタとして使用可能なテレビも可）、に装着して使用します（※モニタは付属しておりません）。尚、24 インチなど他のサイズのモニタでも、全てではありませんが対応可能です。また、背面に標的紙を貼っての使用も可能です。（※32 インチ未満のモニタをご使用の場合は、4 本足で立てて御使用ください）

- ⑩ **捕集マット**：BB 弾を回収するためのマイクロファイバーマットです。二つ折りにして標的装置の前に置きます。また、このマットは本機を丸めたときに、本機を包んで保護するのにも使えます。詳しくは、本機の紹介動画をご覧ください。  
(<https://youtu.be/i4MgCTU7jJM>)
- ⑪ **高さ調節板**：固定板の高さがモニタの高さより高いときに貼り付けて高さ調節をするための板です。厚さ 10mm の主固定板用 2 枚と補助固定板用 4 枚、厚さ 5mm の主固定板用 1 枚と補助固定板用 2 枚が付属しています。組み合わせて適切な高さにして下さい。必要が無い場合でも、滑り止めに 5mm の高さ調節板 1 枚は貼って下さい。

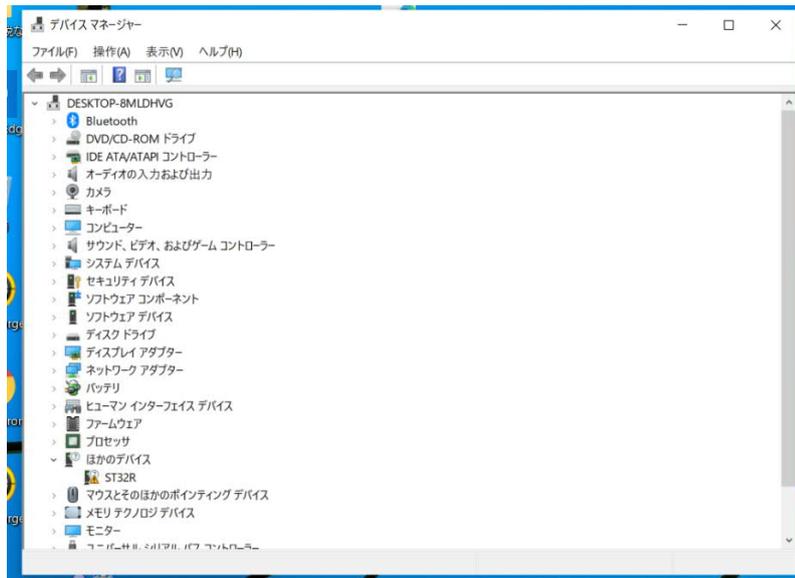
### 3. USB ドライバのインストール

Windows10 の画面で説明致します。

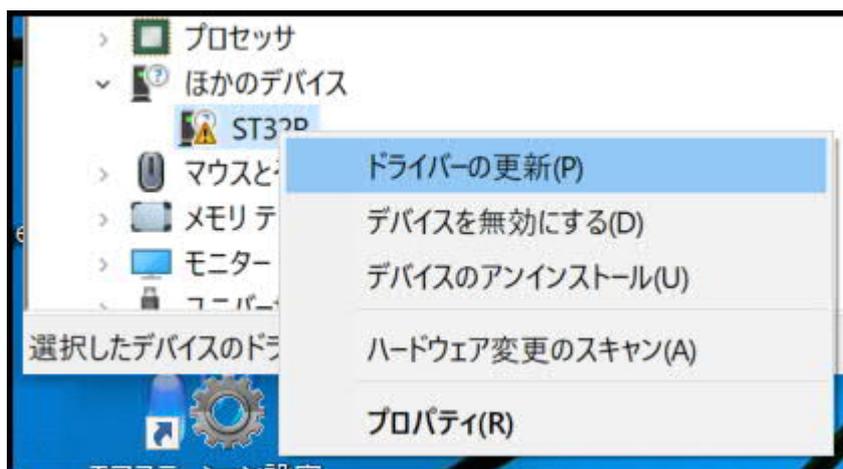
1. 本製品を USB ケーブルでパソコンに接続します。
2. マウスポインタを画面左下の「スタート」ボタンに合わせてマウスの右ボタンをクリックします (以後「右クリック」と書きます)。すると、プルダウンメニューが表示されますので、「デバイスマネージャー(M)」をマウスの左ボタンでクリック (以後、単に「クリック」と書きます) して下さい。



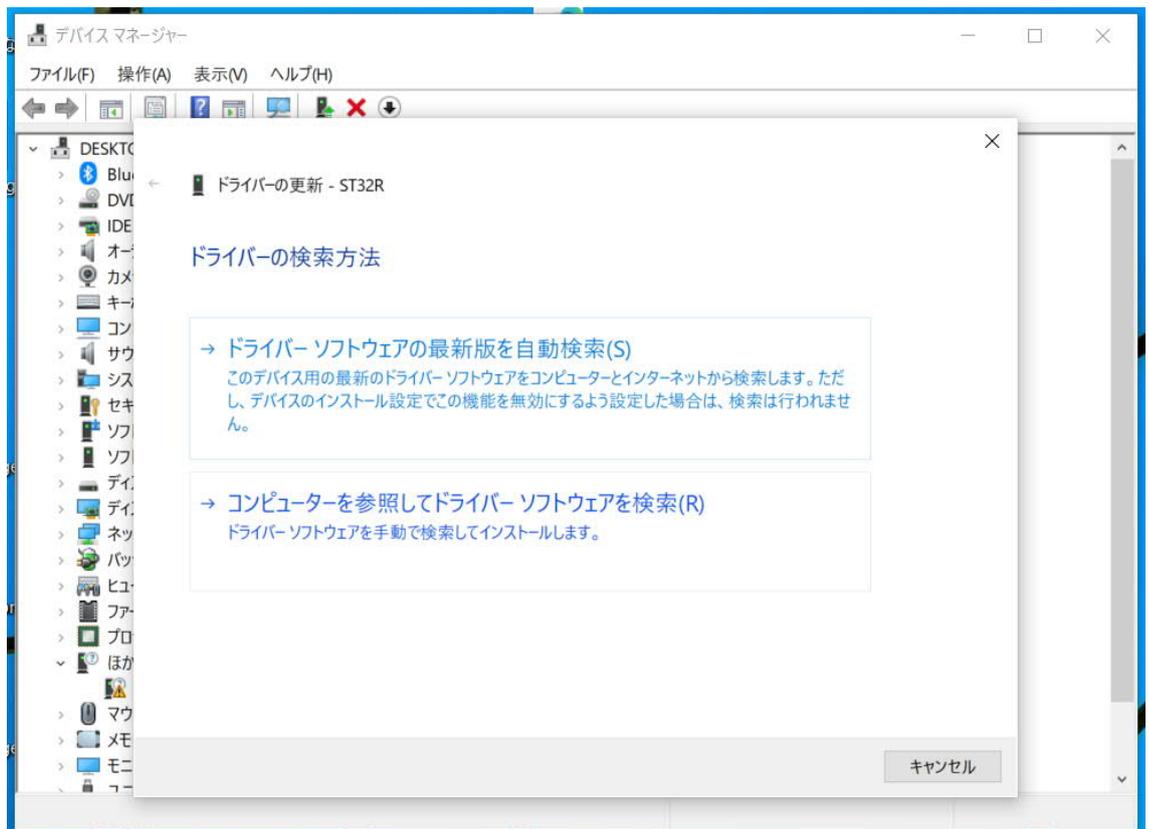
3. すると、デバイスマネージャーウィンドウが表示され、「ほかのデバイス」の所に「ST32R」が確認できます。



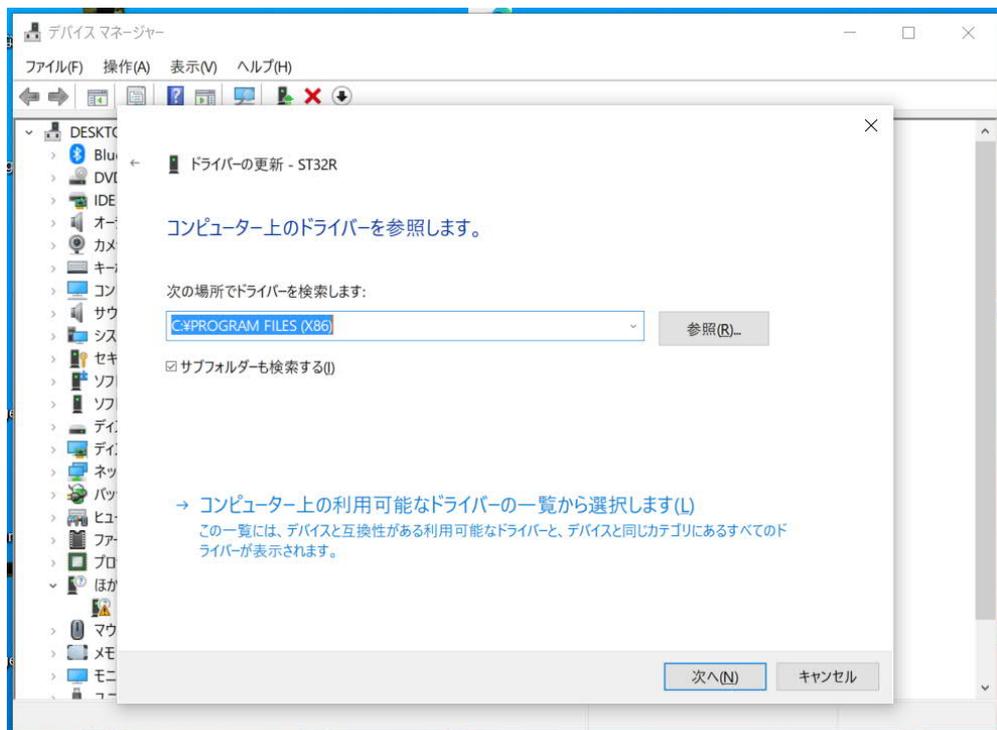
4. この「ST32R」アイコンを右クリックすると、メニューが出ますので、「ドライバーの更新(P)」をクリックしてください。



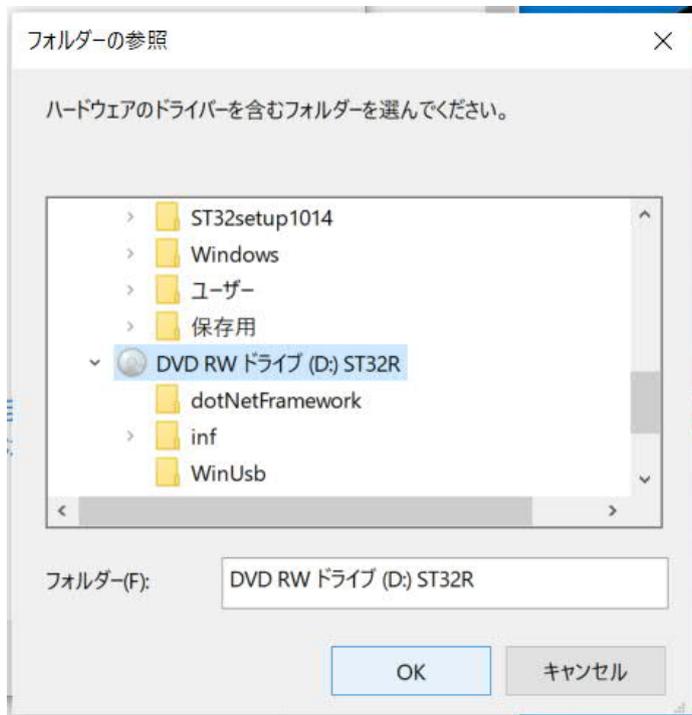
5. 「ドライバーの検索方法」ウィンドウが表示されますので、「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索(R)」をクリックしてください。



6. 「コンピューター上のドライバを参照します」 ウィンドウが表示されますので、「参照(R)...」 ボタンをクリックしてください。



7. 「フォルダーの参照」ウィンドウが表示されますので、ST32R の CD\_ROM が入ったドライブ (※特定のフォルダーからインストールする場合にはそのフォルダー) を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

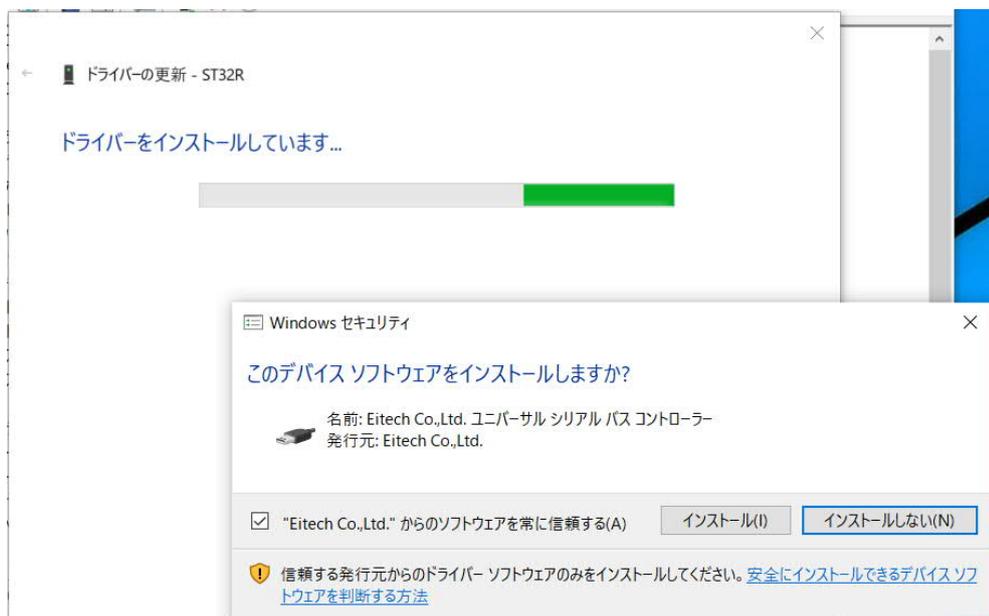


8. 「コンピューター上のドライバを参照します。」ウィンドウに戻りますので、「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。



9. 「ドライバーをインストールしています...」ウィンドウが出て、インストールが始まります。
10. 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか？」ウィンドウが表示され

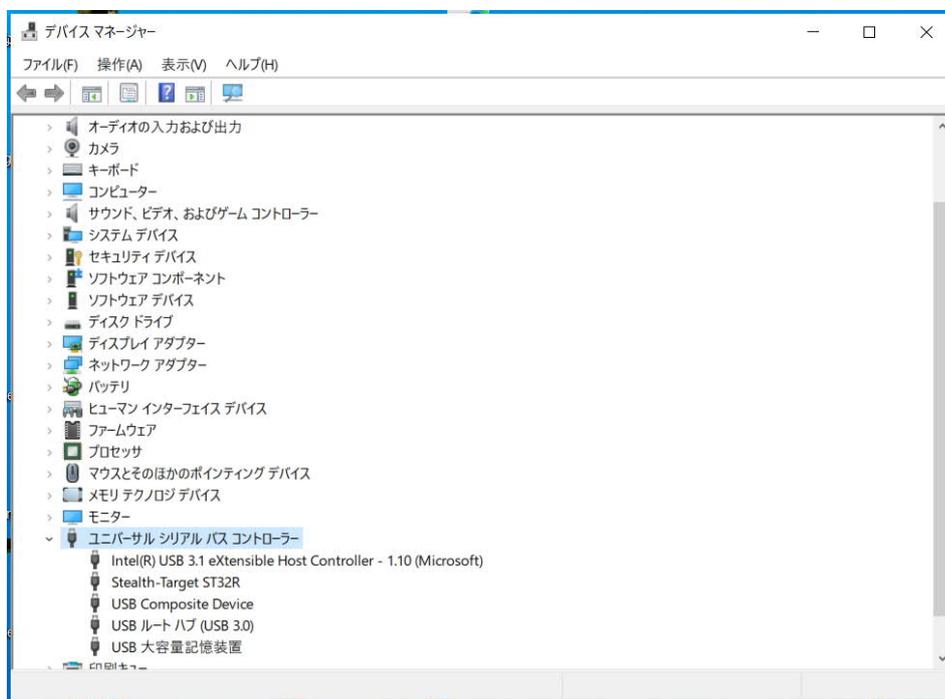
たら、「インストール(I)」ボタンをクリックしてください。



11. 「ドライバーが正常に更新されました」ウィンドウが出ますので、「閉じる(C)」ボタンをクリックしてください。



12. 「デバイスマネージャー」ウィンドウで「ユニバーサルシリアルバス」を開くと、「Stealth-Target ST32R」が確認できます。



## 2. ソフトのインストールとアンインストール

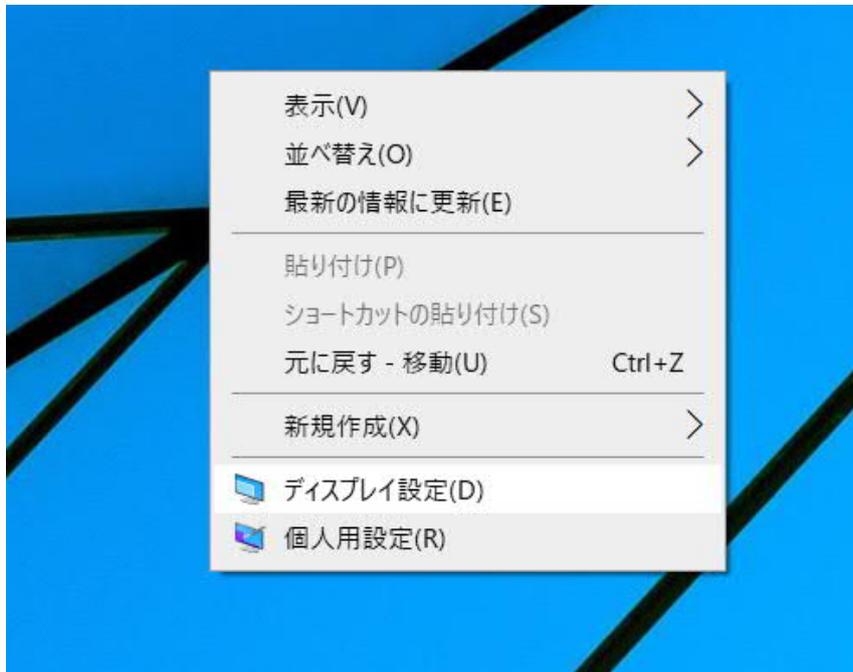
添付インストールディスク（CD-ROM）内の SETUP.EXE をダブルクリックして実行してください。後は表示される指示にしたがってください。

ただし、「このセットアップは.NET Framework・・・を必要とします・・・」というような内容のダイアログボックスが表示されることがありますので、この場合には「いいえ(N)」ボタンを押して一旦インストールを中止し、インストールディスク内の dotNetFramework フォルダの dotnetfx35setup.exe を実行して.NET Framework3.5 をインストール後、改めて添付インストールディスク（CD-ROM）内の SETUP.EXE を実行してください（※このインストールにはインターネット接続が必要です）。

アンインストールは、Windows11 及び Windows10 の場合は「スタート」ボタンを右クリックし、表示されるメニューから「インストールされているアプリ」または「アプリと機能」をクリックして行ってください。Windows7 の場合はコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から行ってください。

### 3. モニタの設定

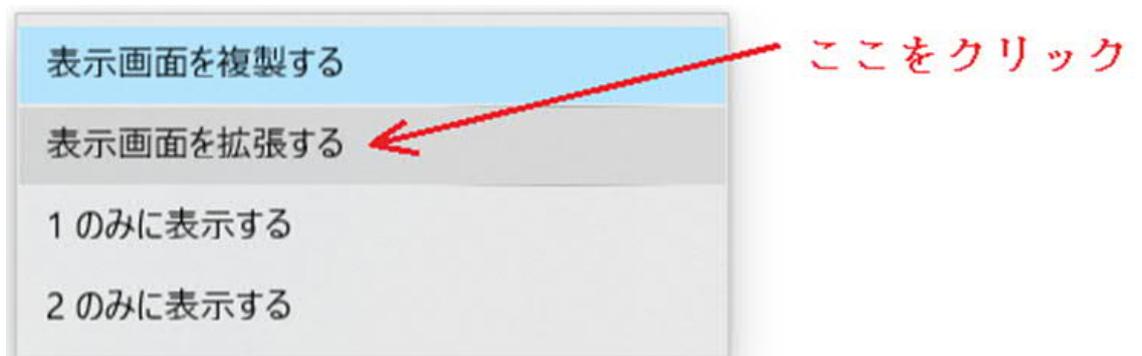
1. パソコン画面のデスクトップを右クリックし、表示されるメニューから「ディスプレイ設定(D)」(※Win7では「画面の解像度」)を選択してください。



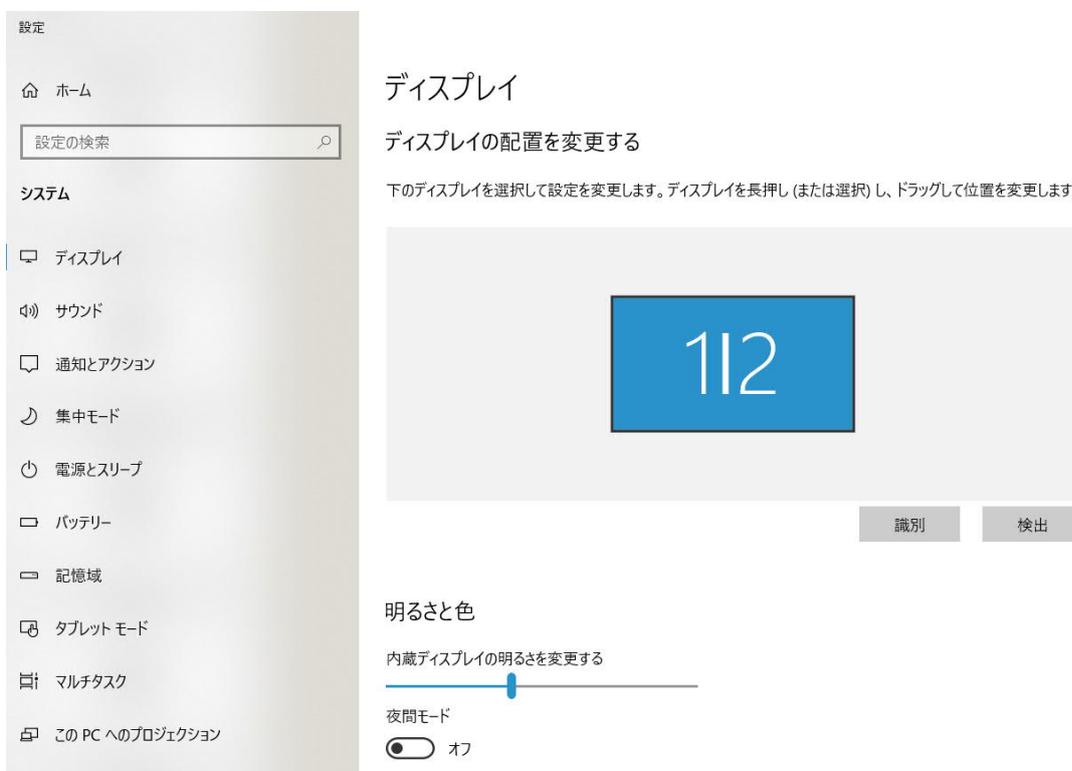
2. 「ディスプレイ設定」ウィンドウが表示されます。  
Windows11の場合は「表示画面を複製する」ボタンをクリックし、



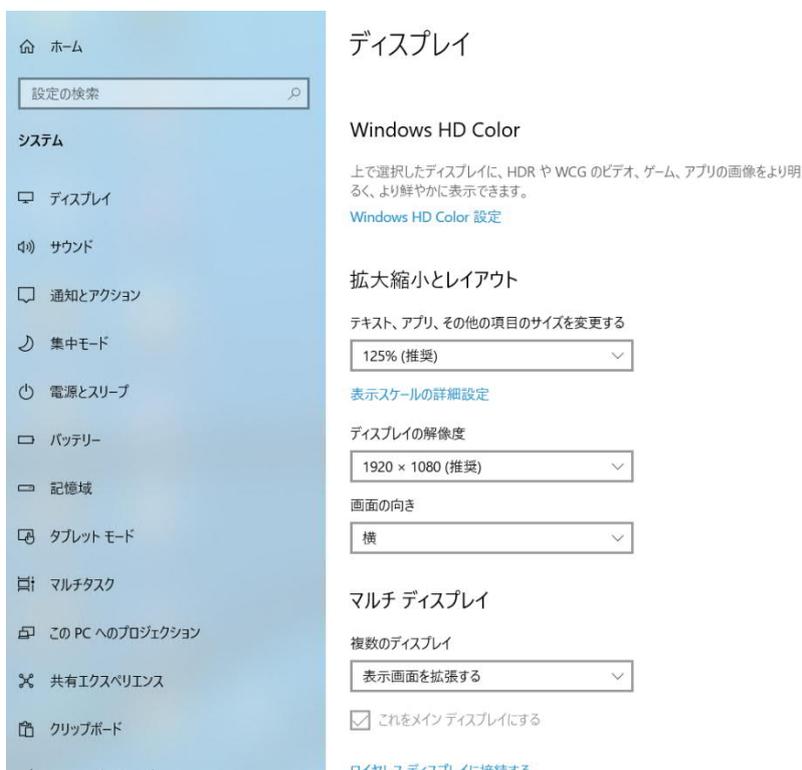
表示されるメニューから「表示画面を拡張する」をクリックします。



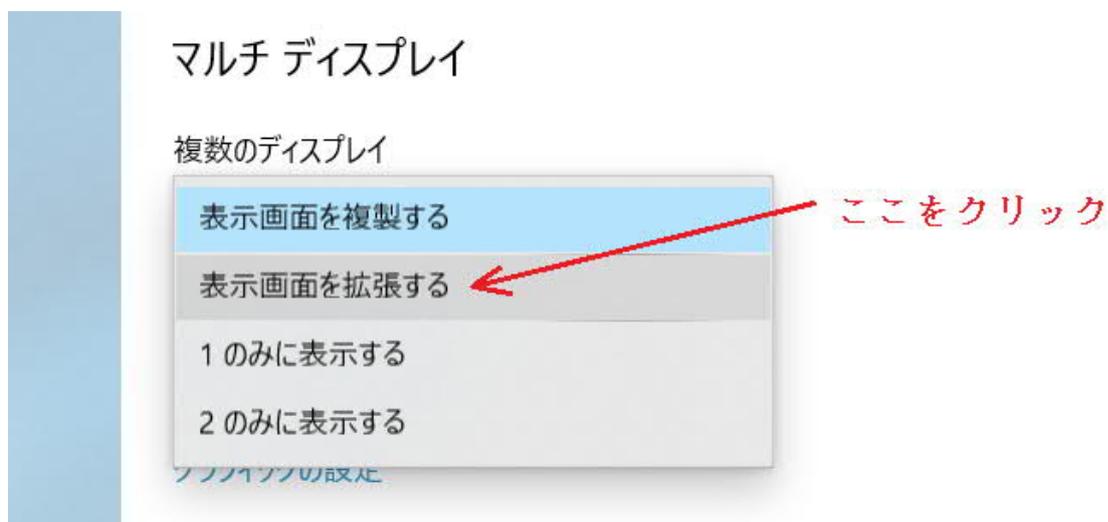
Windows10 の場合は「ディスプレイ設定」ウィンドウを下にスクロールすると、



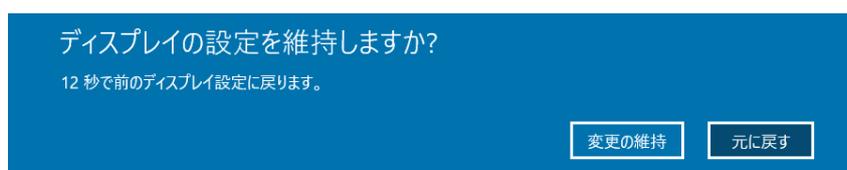
「マルチディスプレイ」の下に「複数のディスプレイ」設定メニューがありますので、



ここを「表示画面を拡張する」に設定して下さい。



3. そして、「ディスプレイの設定を維持しますか？」と表示されたら、「変更の維持」を選択してください。



4. この後、上の方を見る（Windows11 の場合）か上にスクロールして行く（Windows10 の場合）と、画面が拡張されているのが分かります。



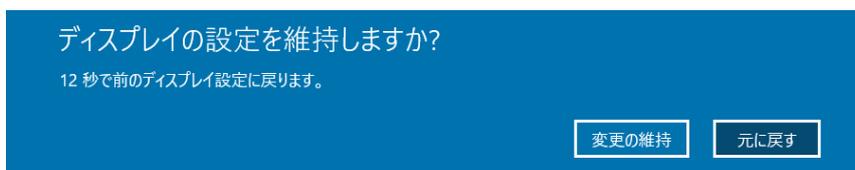
5. 外部モニターを選択します。(※この場合は外部モニターは「2」ですが、外部モニターが「1」の場合もあります)



6. 下にスクロールして、外部モニターの「ディスプレイの解像度」を 1366×768 又は 1920×1080 に設定し、



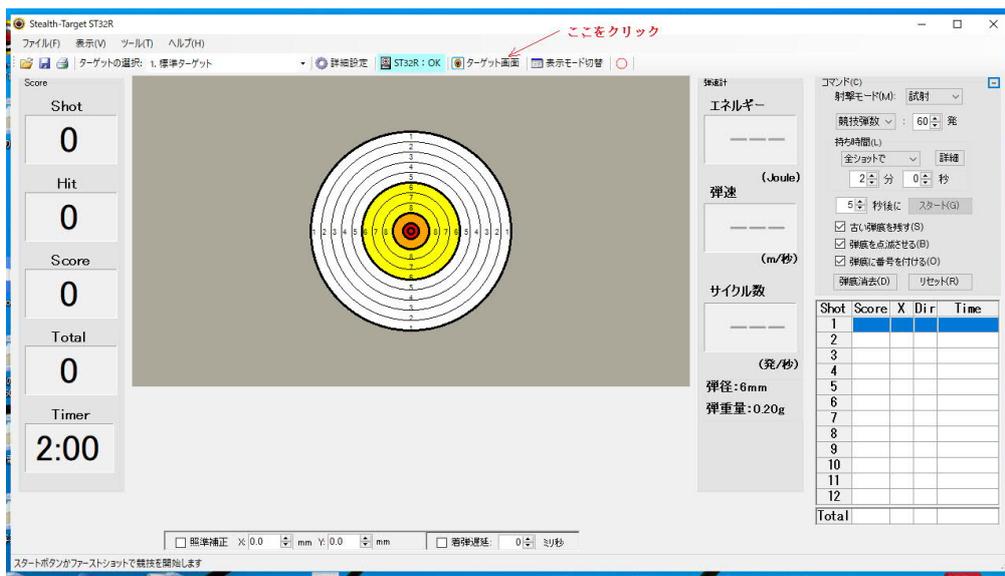
7. 「ディスプレイの設定を維持しますか？」と表示されたら、「変更の維持」を選択して、「ディスプレイ設定」ウィンドウを閉じてください。



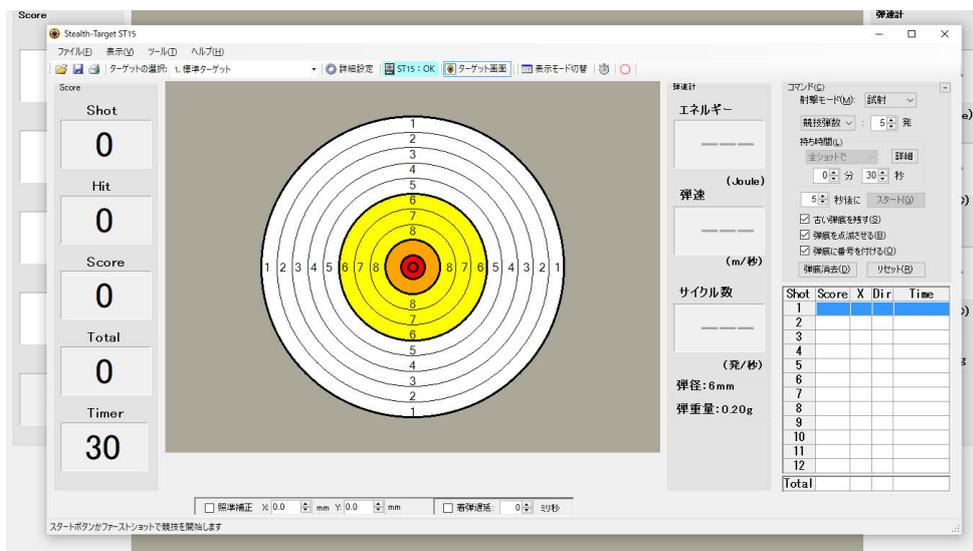
8. Windows のスタートメニューの「Stealth Target ST32R」から「Stealth Target ST32R」をクリックして起動します。すると、標的装置アプリケーションのメイン画面が表示されます。(次図)

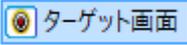


9. ツールバーの「ターゲット画面」ボタン  ターゲット画面 をクリックして下さい。



すると、メイン画面の背後にターゲット画面が表示されます (次図)。



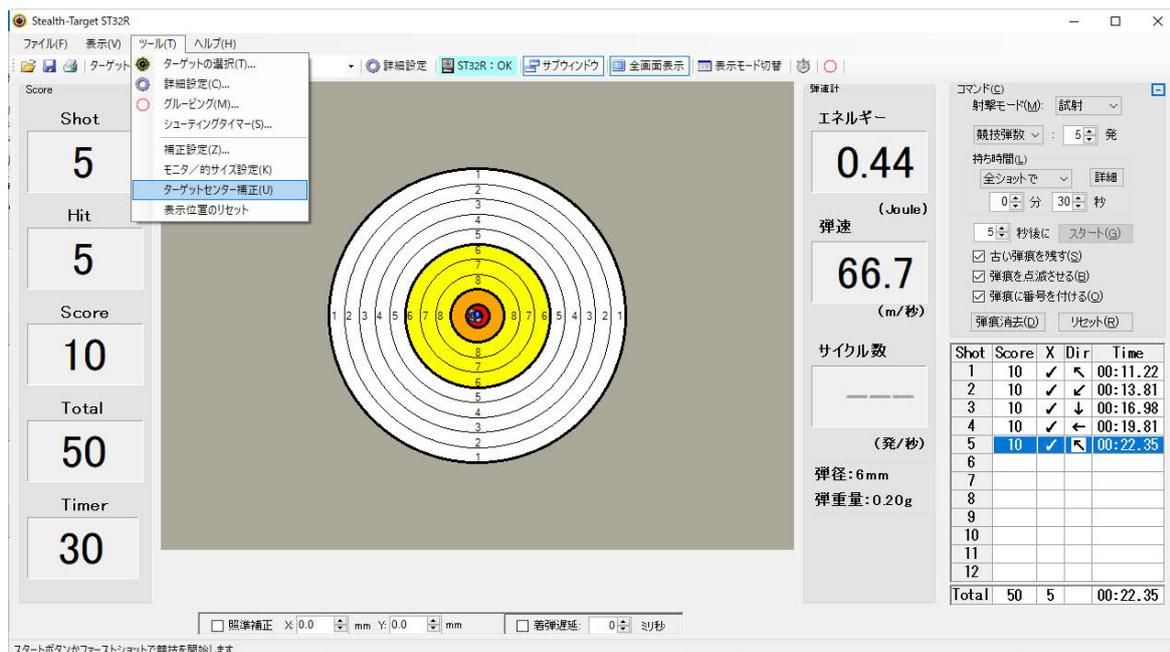
10. マルチモニタ環境でご使用中の場合には、 ボタンをクリックする度に「ターゲット画面」が違うモニタに移動しますので、目的のモニタ（32インチモニタ）に表示されるまで、クリックして下さい。

## 4. 照準補正

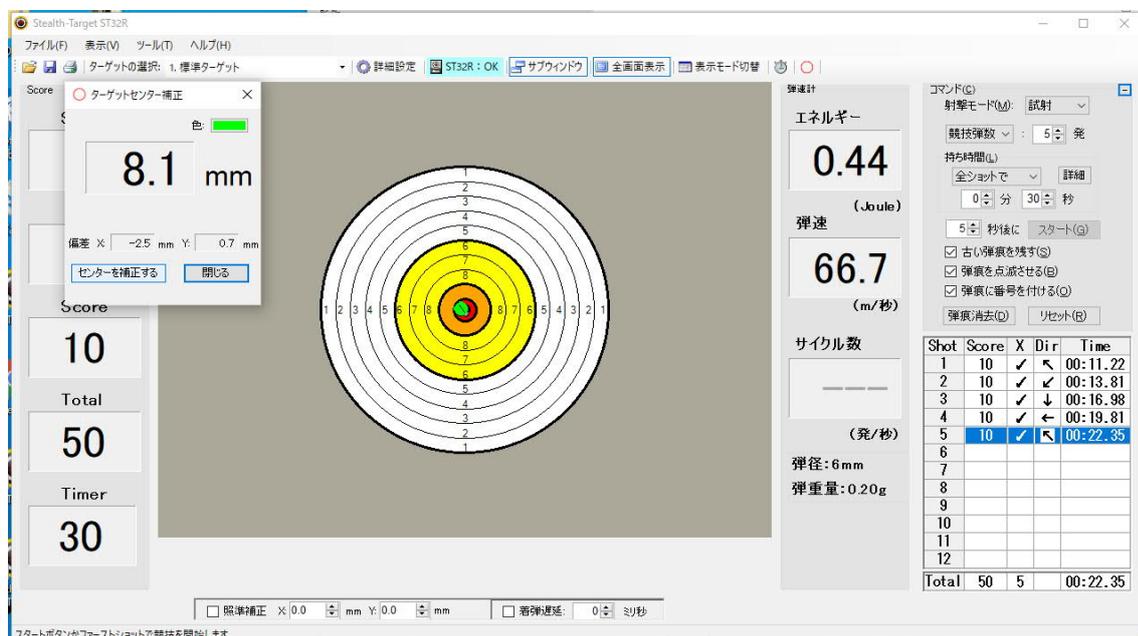
1. ST32R をモニタに装着したら、最初に ST32R にセンターの位置を教えてあげなければなりません。そこで、ST32R の的のすぐ近くから、できるだけ的の中心を狙って何発か撃ってください。



2. そして、「メニューバー」の「ツール(T)」メニューから「ターゲットセンター補正(U)」を選択してください。



- すると、「ターゲットセンター補正」ウィンドウが表示されます。



- 「センターを補正する」ボタンをクリックしてください。これで照準補正は完了です。

以上の設定内容は、保存されますので、次に PC を起動したときには設定の必要はありません。

ソフトの使い方について、詳しくは取扱説明書の 15 頁からをご覧ください。

2024 年 1 月 15 日  
株式会社エイテック